

Weekly Report

2020～2021 年度



令和2年7月7日(火)
第1999回例会



作者の言葉
我々ロータリーは、
世界に平和を齎すべく、
一人ひとりが、
心から笑顔であらうと
願い、
あらゆる困難を乗り越え、
平和な世界を築くために
努力を怠りません。
皆様と共に、
平和な世界を築きましょう。
大友 昌彦

◆ 会長／赤本 昌広 ◆ 幹事／平岡 勉 ◆ 会報／玉井 智春

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1999回例会記録 令和2年7月7日(火) 1/44回

本日は2020-21年度の第1例会につき、中島健児前年度会長から赤本会長へガベルの引き継ぎが行われ、赤本会長より中島健児前年度会長に記念品が贈呈されました。



<点鐘> 赤本会長
<ソング> 君が代 奉仕の理想
<お客様紹介> 赤本会長
三井住友信託銀行 新百合ヶ丘支店 支店長 清家麻紀様

宮崎会員退会のご挨拶→「昨年4月に入会し1年3か月という短い間でしたが、とてもアットホームなクラブで暖かく迎え入れて下さりありがとうございました。移動例会にもとても楽しく参加させて頂きました。7月から熊本に異動となりましたがそちらでもロータリークラブに入会予定ですのでまたロータリアンとして皆様とご縁を頂ければと思っております。」



<2020-21年度役員紹介> 赤本会長



第2001回	7月21日	委員会報告	青少年・社会・国際奉仕各委員長
第2002回	7月28日	クラブ協議会	
第2003回	8月4日	委員会報告	会員増強・会員選考各委員長

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

会長	赤本 昌広
会長エレクト	古澤 利夫
副会長・クラブ奉仕委員長	嶋 元
幹事	平岡 勉
会計	鈴木 清
会場監督(SAA)	井上 久
副幹事	山口 篤
職業奉仕委員長	中島 眞一
青少年奉仕委員長	親松 裕明
社会奉仕委員長	安藤 亨
国際奉仕委員長	石野百合子
直前会長	中島 健児

大変素晴らしいメンバーに囲まれ1年間活動してまいります。皆様ご協力をお願いいたします。

<会長報告> 赤本会長



先に、理事会報告です。

- ・地区支払いの件。人頭分担金、ロータリアン誌、地区資金、地区事業費、地区大会、ロータリアンの友購読費について。
- ・新入会員について。丹羽豊さん、清家麻紀さんの入会について。
- ・新入会員所属委員会の件。新入会員の2名は親睦委員会に所属します。
- ・7/28(火)に開催される「ためになる魅力あるロータリーセミナー」の件。
赤本会長に依頼しました。
- ・台湾世界大会の件。当クラブからは有志による参加となりました。再来年、姉妹クラブの周年行事が開催されるためクラブの公式行事として参加する予定です。
- ・会長・幹事会の件。会長・幹事会の会費の拠出について。
- ・ホテルへのお中元の件について。
- ・麻生防犯協会会費の件について。
- ・麻生観光協会会費の件について。
- ・タウンニュース名刺広告の件について。
それぞれ承認可決されました。

以下、会長報告です。

1. 2019-20年度 轟淳次ガバナーより御礼状着
2. 2019-20年度インターアクトクラブ海外研修報告書送付の件

2020-21年度インターアクトクラブ活動計画書及び各情報書式提出のお願い

桐光学園インターアクトクラブに依頼します。

3. 地区ロータリーアクト2020-21年度Zoomによる全クラブ合同例会の案内
7/19(日)13:30~16:30
4. 第70回“社会を明るくする運動”麻生区推進委員会の結果について
総会は開催されず書面による議決となりました。
5. 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり) 2020公演の招待について

<幹事報告> 平岡幹事

*7月ロータリーレート 1\$=107円

*近隣クラブ例会変更のお知らせ

川崎西RC、川崎高津RC、川崎マリーンRC、川崎大師RC、川崎とどろきRC、川崎中RC

*2020-21年度活動計画書着

川崎西北RC、川崎麻生RC

<ニコニコ委員会> 鈴木文夫委員長

赤本会長→「本日より赤本、平岡で会長、幹事をつとめます。一年間よろしく願いいたします」。平岡幹事→「本日より新体制になり、緊張しっぱなしになると思いますが、宜しくお願いします」。宮崎会員→「今回熊本支店に異動となりました。1年3か月という短い期間でしたが、大変お世話になりました。本当にありがとうございました」。以下、感謝をこめてニコニコへ。阿久澤会員、安藤亨会員、安藤美恵子会員、青柳会員、古澤会員、井上久会員、井上勇会員、石野会員、伊藤会員、菊池会員、小島会員、鴻上会員、小塚会員、都田会員、中島眞一会員、中村会員、野島会員、大西会員、大矢会員、親松会員、佐々岡会員、嶋会員、白井会員、鈴木清会員、玉井会員、高山会員、渡邊会員、山口篤会員、山崎会員、屋敷会員、結城会員、鈴木文夫会員。

<出席委員会> 小塚委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1999回	46	38	8		82.61%
第1998回	49	43	6		87.76%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	35件	35,000円	35件	35,000円
財団	2件	45,000円	2件	45,000円
バネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	0件	0円	0件	0円

<ロータリー財団委員会>

渡邊委員長

安藤美恵子会員→「赤本、平岡年度のスタートですね。頑張ってください!」。結城会員→「入会39年になりました」。

<会場監督より>

井上久委員

コロナ感染防止のため例会に参加する際はマスクの着用をお願いします。忘れた場合は受付に用意してありますのでお使い下さい。その場合はマスク募金をお願いします。また例会に参加する前に受付で検温をし37.5度以上の方は参加されないようよろしくお願いします。また、「ご静粛に」という札を作成したので例会中使用させて頂く場合があります。

<乾杯>

古澤会長エレクト



2020年は我が国にとって素晴らしい年になる予定でした。2月くらいから厳しい状況となり終わりが見えず残念です。そのような状況でも人は集まって話すことが必要で、一人では生きていけません。集まるということがどんどんなくなる状況ですがその中でも川崎百合丘RCを益々発展させていきたいと思えます。今年の赤本、平岡年度を是非成功させていきたいので皆さんご協力よろしくお願いします。乾杯!

～お食事～

本日のプログラム

<会長方針>

赤本会長



2019年末、中国武漢より始まった新型コロナウイルスのパンデミックは、世界の隅々まで影響を与えています。政府による不要不急外出自粛要請や緊急事態宣言の発令を経て、事業に多大なダメージを受けてしまい、退会を余儀なくされた会員が当会で出ました。

私自身も事業の先行き不安に日々悩まされていますし、多くのロータリアンが大変なご苦勞をされていることでしょう。2020年、新型コロナウイルスがもたらした危機的状況は、戦後の様々の出来事の中でも特筆すべきものと考えられます。

私の人生の中で自らの生活に大きく関わった出来事として記憶に残っているのは、生まれた年に起きた東大安田講堂事件、アポロ11号の月面着陸、東西冷戦終結・ベルリンの壁崩壊、天安門事件、アメリカ同時多発テロ、リーマンショックです。もちろん戦後の世界的な危機はこんなものではありませんが、実感として生活が変えられたり、経済的に影響を受けたと思えるのは、バブル崩壊と東日本大震災の2つです。全ての人に影響を与えた、ワクチンや特効薬のない、感染力が高いが致死率が低いと言われる新型コロナウイルスがもたらした損失は計り知れません。

全世界感染者数	11,419,529人
回復者数	6,161,729人
死亡者数	533,780人
日本の感染者数	19,522人
回復者数	17,050人
死亡者数	977人
(人口10万人当たり0.77人)	

ちなみに2019年交通事故死者数は統計以来最少の3,215人
2019年がんの死亡者数は380,300人

この不気味な新型ウイルスに世界中が振り回されています。マスクを当たり前にする時代になりました。以前はサービス業は、口元が見えないのでマスクを付けるのはお客様に失礼だと考えられていましたが今はしない方が失礼となり価値観が真逆になってしまいました。働き方も変わっていきます。そんな状況下で私の年度が始まることに私と平岡幹事には相当なプレッシャーがかかっていることをどうかご理解ください。

ホルガー・クナーク国際ロータリー会長が掲げるテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。より豊かで意義のある人生への扉がロータリークラブです。

第2590地区吉田隆男ガバナーが掲げる地区テーマは「“ためになる魅力あるロータリー”～自分を磨き、品格とクラブの魅力を高めよう～」です。それぞれが「魅力ある・元気ある・個性ある」楽しいクラブになることを目指して切磋琢磨することが会員ひとりひとりの人生を豊かで意義深いものにし、ひいては魅力あるクラブ作りをしていきましょう。

これを今年度の指標、ガイドラインとして決めた会長方針は「求心力のあるクラブにしよう」です。そして、この一年間は4つの項目を主眼においてクラブ運営をしたいと思えます。

1. 例会運営と親睦活動の密な連携

例会運営がソーシャルディスタンス等で例年のようにスムーズにいかない中で、SAA、親睦委員会と密に連絡を取り合いながら、各会員がこのような状況でも参加したいと思う例会や親睦活動を実施していきたいです。当然ながら、感染リスクをしっかりと考慮しつつが前提となります。リモート参加についても検討していきたいと思います。集まって顔を合わせて話や情報交換をすることがロータリー活動の一つの根幹であると考え、リモート参加が増えることがいいとばかりも言えないのでしっかりと検討していきたいと思います。

2. 各種奉仕活動の再検証と強化

既存の奉仕活動が地域社会や対象の団体から感謝される活動なのかを再検証して、中身のある活動を展開していきたいと思います。地域社会から必要とされているのか、また、職業奉仕の観点から会員それぞれの商売・仕事で世の中に貢献することも推奨したいと思います。CSRとは、「Corporate Social Responsibility」の略語で、日本語に訳すと「企業の社会的責任」という意味になります。一般的には、収益を求めるだけでなく、環境活動、ボランティア、寄付活動など、企業としての社会貢献の活動を言います。職業を通じて営利以外の地域社会に役立つことをやっていくのもロータリークラブの活動の一つではないかと思います。

3. 地域社会との連携を深める卓話者を選定

ロータリークラブは、地域社会(当クラブは地元志向が強いので、あえてこれに限定)においてハブ機能を持つべきと考えます。ニーズとシーズを結びつ

ける媒介者でありたいと考えています。地域社会の諸問題を解決したいAという個人もしくは団体と解決する能力や資本力を持つBという個人もしくは団体を結びつけるのもロータリークラブの大切な役割ではないかと考えます。地域社会との連携を深められる卓話者を選びたいと思っています。結びつける機会となるのが招聘卓話ではないかと思っているので、卓話者の選定を考えたいと思います。

4. 会員増強と新会員対策の強化

会員数は、資金力、人的資源、可能性、機会の扉をいくつも持つためにはとても重要であると考えます。現会員が楽しくて充実したロータリーライフ、当然自分の仕事も順調であれば、なおのこと。血眼になりながら会員増強をしなくても自然と人が集まってきます。ロータリーの基本的な知識を学ぶ機会と新入会員が何を求めてロータリーに入ったかをリサーチすることも必要であると考えます。

「新しい生活様式」というワクチンや特効薬のない感染症と共存していくためと言われる方法論が有益なのかどうかはさておき、今年度は当クラブの運営方法を模索しながら、開店休業状態にせず、ロータリークラブに、当クラブに入っていて良かったといわれるような一年にすることも目標にしていきたいです。

2020-21年度は、活動自体は不自由ながらも当クラブを見つめ直す時期と捉え、当クラブの強み(結束力)が色褪せないようにしつつ、少しでもより魅力的なクラブになるようブラッシュアップを図りながら、次年度にバトンを渡したいと思います。

<点鐘>

赤本会長

